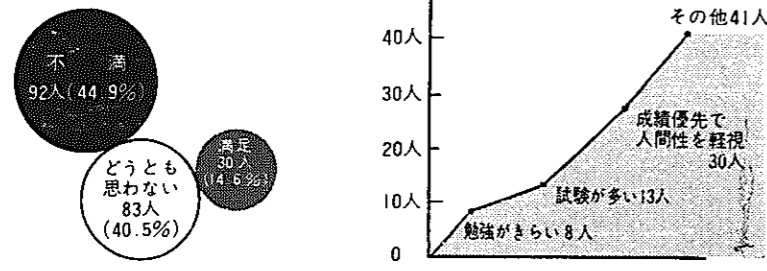


■高校生活をどのように思うか——不満の理由は……



子どもたちは、家庭や社会のユガミに対して不満を助長させ、悲痛な叫びを上げていることは確かです。

「甘やかしてはいけない」「しなくてはいけない」といった問題でなく、子どもたちの意見を無視せず、私たちは誠意を持って接しなければなりません。

そのため、子どもたちの感情欲望、要求を適切にキャッチできる余裕、姿勢を常に持ち続ける「エネルギー」をもっとまじな方法で放出できるよう指導することが大切です。「家庭が悪

意志を無視せず

余裕を持った暖かい指導を

「学校が悪い」「社会が悪い」といった責任のなすり合いだけでは、この問題はけっして解決できません。

あせらず着実に

通学路に立てかけられてある刺激的な映画の看板も、新津市では、住民が一体となり映画館と話し合い「通学路にはほらない」という同意を得ているところも実際にあります。

家庭、学校、行政など個々の力ではどうすることもできない



こんな環境を、若者たちは一体どのように受けとめているのだろうか。「法にふれていないのだから」と大人はいうが……。

問題も、みんなで力を合わせれば、確実に「非行の芽」を摘みとることが出来ます。

地域全体がこの問題をもっと真剣に考え、あせらず一歩、一歩着実に取り組んで行くことが望まれます。



おさそい

非行防止懇談会



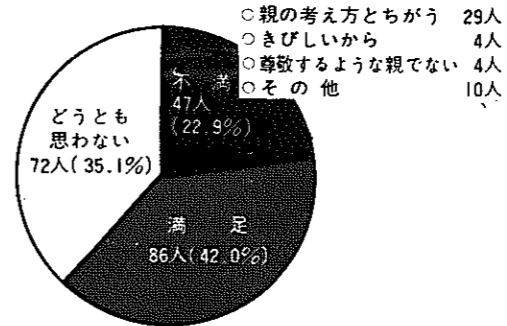
地域ぐるみで話し合い健全な青少年を育てよう！

7月の日程 (午後1時30分～午後4時) ()内は会場。

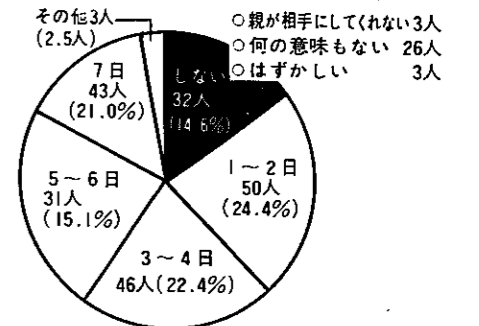
▶7日=新飯田・庄瀬 (各中学校) ▶12日=茨曾根・小林 (各小学校)

▶15日=白根 (教育センター)・根岸 (小学校) ▶17日=大郷・鷲巻・臼井 (各中学校)

■家庭生活をどのように思うか



■週に何回親と話し合うか



体験をとおして、適応性豊かな人格を形成していく自己実現の過程だといわれています。

最も柔軟性に富む時期なのですが、反面では、心身の発達アンバランスで、情緒的にも未成熟、不安定というむずかしい時期にあたり、自信と不安や劣等感、不満と充実感の間をゆれ動いて、自分自身を持って余してしまふようなことがよくあります。

こうした内面的動きが、親に対する反抗となつて現れたり、家庭や学校に対する不満が、不良行為や非行の形で発散されたりするのはないでしょうか。

ちなみに、白根高校の二年生を対象に行なった「意識調査」によると、前記したような危険性が十分にあるといつてもいい過ぎでないような気がします。

社会、家庭、高校生活のあり方について、相当数の生徒が、

不満がある」と答えている現状そこから、逃避したいといった気持ち——自分自身がよくつかめないまま、回り道や試行錯誤を繰り返す生徒たち。一歩誤ると非行に陥つてしまふおそれがあることを、私たちはよく知っておかなければなりません。

保護者側にも問題が

今、市内でも高校生を持つ父兄や青少年問題協議会委員、警察、学校などを中心に、非行の実態と子どもたちの気持ちを少しでも理解しよう、と、各中学校区単位で話し合いがもたれ、活発な意見の交換が行なわれています。

話し合いの中で出された意見から、感じられたことを簡単にまとめてみると①高校側と家庭側の連絡が思うにまかせず、学校の生活指導が十分に家庭で生

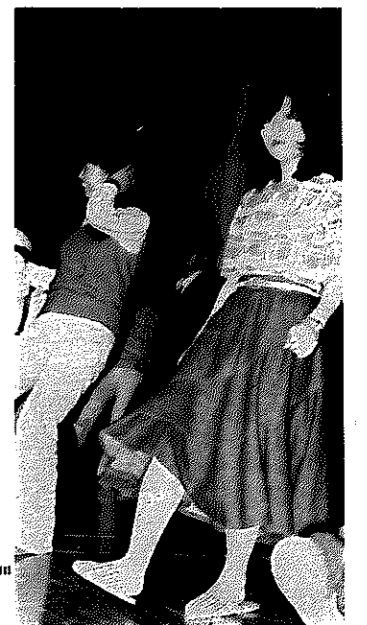


青春を語る

青年学級交歓会

青春にアタック！今年も「青年学級交歓会」が6月5、6日の二日間、教育センターを主会場に行なわれ十日町市、新潟市、小千谷市、上越市などから多くの若者が訪れました。

11年前、十日町市と本市だけで行なったのがこの交歓会の始まりとか——今ではより大きな輪となり、若者のすばらしい社交の場となっています。



青少年オリエンテーリング大会

健康なからだには健全な精神が——市内に働く青少年、高校生ならどなたも参加できます。

▶とき=7月18日(日) (雨天の場合は7月25日)

▶募集人員=100人 ▶参加料100円 ▶申し込み=7月10日までに教育センター(☎2800)へ——

おさそい